⑩公開特許公報(A) 昭63 - 128252

@Int_CI_4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和63年(1988)5月31日

G 01 N 27/46 // C 12 Q

M-7363-2G -7363-2G 8412-4B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

図発明の名称 バイオセンサ

> 创特 願 昭61-274472

> > 志

田の 願 昭61(1986)11月18日

②発 眀 者 河 栗 真 理 子 ⑦発 明 者 癌 史 南

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 朗 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 和

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

⑦発 眀 者 杉 原 宏 明 去 島 砂発 飯

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

松下電器産業株式会社 の出 顋 人

大阪府門真市大字門真1006番地

邳代 理 弁理士 中尾 敏男 外1名

1、発明の名称

パイオセンサ

2、特許請求の範囲

- (1) 少なくとも測定極と対極からたる電極系を設 けた絶録性の基板と、多孔体膜からなる沪過層を よび少なくとも酸化理元酵素を含む反応層を支持 枠で保持した測定チップとを水静性材料を含む接 着届で一体化したことを特徴とするパイオセンサo (2) 接着層はゼラチンを含むことを特徴とする特
- (3) 反応層の上に試料を含養する試料添加層を設 けたことを特徴とする特許請求の範囲第1項また は第2項記載のパイオセンサ。

許請求の範囲第1項記載のパイオセンサ。

- (4) 沪過暦はポリカーポネート膜であり、反応暦 は少なくともグリコースオキシダーセとフェリシ アン化カリウムを担持するととを特徴とする特許 請求の範囲第1項記載のパイオセンサ。
- 3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、種々の微量の生体試料中の特定成分 について、試料液を希釈するととなく迅速かつ簡 易に定量することのできるパイオセンサに関する。 従来の技術

従来、血液などの生体試料中の特定成分につい て、試料液の希釈や撹拌などの操作を行うととな く高精度に定量する方式としては、第2図に示す 様なパイオセンサが提案されている(例えば、特 閉昭59-186852号公報)。 とのパイオセ ンサは、絶縁基板13にリード14,15をそれ ぞれ有する白金などからなる測定極16および対・ 板17を埋設し、これらの電極系の露出部分を酸 化還元群集および電子受容体を担持した多孔体 18 で覆ったものである。試料液を多孔体18上へ滴 下すると、試料液に多孔体中の酸化漿元酵素と電 子受容体が溶解し、試料液中の基質との間で酵素 反応が進行し電子受容体が選元される。酵素反応 終了後、との還元された電子受容体を電気化学的 に酸化し、とのとき得られる酸化電硫値から試料 液中の蒸質機度を求める。

発明が解決しようとする問題点

この様な従来の構成では、多孔体については、 酬定毎に取り替えることにより簡易に 副定に 供することができるが、電価系については 洗浄等の操作が必要である。一方電価系をも含めて 副定毎の 使い楽でが可能となれば、 測定操作上、 低めて簡 易になるものの、 白金等の電価材料や構成等の面 から、非常に 高価なものにならざるを得ない。

本発明はこれらの点について種々検討の結果、 電極系と多孔体を一体化することにより、生体財 料中の特定成分を極めて容易に迅速かつ高精度に 定量することのできる安価なディスポーザブルタ イプのパイオセンサを提供するものである。

問題点を解決するための手段

本発明は上記問題点を解決するため、絶縁性の基板に少なくとも測定極と対極からなる電極系を設け、酵素と電子受容体と試料液を反応させ、前配反応に際しての物質機能変化を電気化学的に前配電極系で検知し、試料液中の基質機能を測定するパイオセンサにおいて、前配電極系と多孔体膜

からなる沪過層 および少なくとも酵素を担持した 反応層を支持枠で保持した測定チップを水酔性の 材料により空間部を形成して一体化したものである。

作用

本発明によれば、電極系をも含めたディスポー サブルタイプのパイオセンサを構成することがで き、試料液を多孔体に添加することにより、極め て容易に基質濃度を測定することができる。

しかも、水溶性の材料で一体化したことにより、 非常に早く反応液が電極表面に達し設けられた空 間部に満たされ迅速に測定することが可能となり、 しかも測定チップの影響が空間部により除去され 測定精度が向上した。

寒 施 例

バイオセンサの一例として、グルコースセンサ について説明する。第1図は、グルコースセンサ の一実施例について示したもので、構成部分の分 解図である。ボリエチレンテレフタレートからな る絶縁性の基板1に、スクリーン印刷により導電

8 ~-3

6. ページ

性カーボンペーストを印刷し、加熱乾燥することにより、対極2、測定極3、参照極4からなる電極系を形成する。次に、電極系を部分的に優々の電極の電気化学的に作用する部分2′,3′,4′(各1 mi)を残す機に、絶縁性ペーストを前記の「機に印刷し、加熱処理して絶縁層5を形成する。電極系の上部に1 μm の孔径を有するボリカーが高で系の上部に1 μm の孔径を有するボリカーがは、ネート膜からなるに過層8を、保持枠7に固定といるがある試料添加層8を保持枠7の穴の中にもりウムを担持した反応層8かよびセルロースストをした反応層8かよびセルロースストを担持したの層8かよびセルロースストを担持したの層8かよびセルロースストを担持したの間をを保持枠7の穴の中に設置し開孔部を有する樹脂製カパー10を接着レスのに関発するでは、150μm)12によりセットして一体化する。

上記センサに血液を添加すると、血液は試料添加層 9 ですみやかに拡がり、反応層 8 に狙持されたグルコースオキンダーゼとフェリンアン化カリウムの溶解と反応が進行しつつ、 近過層 6 で赤血球などが 戸退され、 戸液のみが水溶性 両面接着テーブ 1 2 との接着部より電極系上に満たされる。

反応は血液中のグルコースがグルコースオキシダーゼの作用によりフェリシアン化カリウムと反応してグルコースの濃度に応じたフェロシアン化カリウムが生成する。参照極を基準にしてTOOmVのバルス電圧を印加すると、生成したフェロシアン化カリウム濃度に比例した酸化電流が得られ、この電流値は基質であるグルコース濃度に対応する。

血液を摘下すると10秒ぐらいで戸液が電極上まで浸透し、すみやかに戸過膜と電極の空間部を 滴たした。摘下2分段にパルス電圧を印加すると 非常に再現性のよい応答が得られた。

不溶性の両面接着テープを用いると粘着層の所で液がとまり電極部へ反応液が供給できなかった。そのため、電値部へ液を供給するためにレーョン不識布などを用いる必要があった。レーョン不識布を設置することにより毛細管現象を利用して液を電低まで供給できたが、浸透時間が30秒ぐらいかかり、レーョン繊維が電極表面に接触して反応面積を変えたり、気泡の発生をおとすため、再

現性の良い応答が得られたかった。

水溶性の両面接着テーブは液がくると粘着層が 溶解して濡れるため、すみやかに炉液を電極上に 供給するので、一か所だけ水溶性にしてもとは不 溶性の両面接着テーブにすると水溶性にしてあたなけれるので液を一方向に流すことにでいまりが 過層と電極の空間部に気泡が残るのを防ぐことが できた。水溶性の両面接着テーブののかわりに、か ラチンを用いて一体化しても血液の炉過程すると がに行なえたが、一定の空間部(特にが過層となっ がに行なえたが、一定の空間部で作成しにくる で表表面と炉過膜の距離が150 μm あれば 可定の際の電流分布に影響を受けにくく精度よく 即定できた。

なお、パイオセンサにおける一体化の方法としては、実施例に示した枠体・カバーなどの形や組み合わせに限定されるものではない。

一方、前記実施例においては、電極系として3 電極方式の場合について述べたが、対極と剛定極 からなる2電極方式でも測定は可能である。

9 4-9

ことにより、極めて容易に生体試料中の基質濃度 を測定することができる。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例であるパイオセンサ の分解射視図、第2図は従来例のパイオセンサの 縦断面図である。

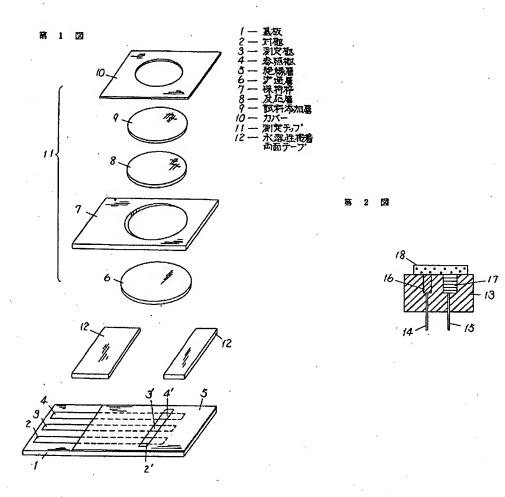
代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

多孔体 B に担持させる電子受容体としては、前記実施例で用いたフェリシアン化カリウムが安定に反応するので適しているが、Pーペンゾキノンを使えば、反応速度が早いので高速化に適している。又、2,6ージクロロフェノールインドフェノール、メチレンブルー、フェナジンメトサルフェート、βーナフトキノン4ースルホン酸カリウムなども使用できる。

なお、上記実施例におけるセンサはグルコース に限らず、アルコールセンサやコレステロールセンサなど、酸化産元酵素の関与する系に用いることができる。酸化産元酵素としてはグルコースオキシダーゼを用いたが、他の酵素、たとえばアルコールオキシダーゼ、キサンチンオキシダーゼ、コレステロールオキシダーゼ等も用いることができる。

発明の効果

本発明のパイオセンサは、絶縁性の基板上の電 極系と酸化還元酵素と電子受容体を担持した多孔 体を水溶性の両面接着テープを用いて一体化する



Best Available Copy



The Delphion Integrated View

Get Now: PDF More choices	Tools: Add to Work File: Create new Wo	
View: INPADOC Jump to: Top Go to: Derwent	, <u>⊆m</u>	

©Title: JP63128252A2: BIOSENSOR

Derwent Title: Bio:sensor for quickly determining trace element in sample - comprising

measuring chip with filtration layer and reaction layer contg.

oxido:reductase, etc. [Derwent Record]

& Country: JP Japan

② Inventor: KAWAGURI MARIKO;

NANKAI SHIRO;

SUGIHARA HIROKAZU;

IIJIMA TAKASHI;

PAssignee: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed: 1988-05-31 / 1986-11-18

S Application **JP1986000274472**

Number:

@ IPC Code: G01N 27/46; G01N 27/30; C12Q 1/26;

§ Priority Number: 1986-11-18 JP1986000274472

SAbstract: PURPOSE: To obtain an inexpensive sensor of a disposable type which can easily and quickly determine the specific component in a

vital sample with high accuracy by integrating an electrode system

and porous body.

CONSTITUTION: The electrode system consisting of a counter electrode 2, a measuring electrode 3, and a reference electrode 4 is formed on an insulating substrate 1 consisting of PE terephthalate. An insulating film 5 is then formed in a manner as to partially cover the electrode system but to expose the electrochemically acting parts 2', 3', 4' of the respective electrodes. A filter layer 6 consisting of a polycarbonate membrane is fixed to a holding frame 7, then a reaction layer 8 on which glucose oxidase and potassium ferrycyanide are deposited and a sample addition layer 9 consisting

of a nonwoven cellulose fabric are installed in the hole of the frame 7. A resin cover 10 having an aperture is adhered thereto by which a chip 11 for measurement is obtd. This chip 11 is set to the electrode system and integrated thereto by means of a water soluble double-coated adhesive tape 12. The substrate concn. is thereby extremely easily measured and since the reaction liquid arrives extremely fast at the electrode surface, the quick

measurement is permitted.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

Family: None

ত্ব Forward References:

Go to Result Set: Forward references (26)

901	Go to Result Set: Forward references (26)						
PDF	Patent	Pub.Date	Inventor	Assignee	Title		
A	<u>US6749740</u>		Liamos; Charles T.	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor and methods		
A	US6654625	2003-11-25	Say; James L.	TheraSense, Inc.	Mass transport limited analyte sensor		
A	<u>US6618934</u>		Feldman; Benjamin J.	TheraSense, Inc.	Method of manufacturii volume in vitro analyte		
	<u>US6616819</u>	2003-09-09	Liamos; Charles T.	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor and methods		
æ	US6592745	2003-07-15	Feldman; Benjamin J.	TheraSense, Inc.	Method of using a sma vitro analyte sensor wil or non-leachable redox		
Æ	<u>US6591125</u>	2003-07-08	Buse; John Bernard	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor with diffusible o leachable redox media		
图	<u>US6576101</u>	2003-06-10	Heller; Adam	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor		
A	US6572745	2003-06-03	Rappin; Craig	Virotek, L.L.C.	Electrochemical senso method thereof		
B	<u>US6565509</u>	2003-05-20	Say; James	TheraSense, Inc.	Analyte monitoring dev methods of use		
A	US6514718	2003-02-04	Heller; Adam	TheraSense, Inc.	Subcutaneous glucose		
	US6484046	2002-11-19	Say; James	TheraSense, Inc.	Electrochemical analyt		
Z	<u>US6461496</u>	2002-10-08	Feldman; Benjamin J.	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor with diffusible o leachable redox media		
B	<u>US6338790</u>	2002-01-15	Feldman; Benjamin J.	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor with diffusible o leachable redox media		
A	US6329161	2001-12-11	Heller; Adam	TheraSense, Inc.	Subcutaneous glucose		
B	<u>US6299757</u>	2001-10-09	Feldman; Benjamin J.	TheraSense, Inc.	Small volume in vitro a sensor with diffusible o leachable redox media		
Æ	<u>US6284478</u>	2001-09-04	Heller; Adam	E. Heller & Company	Subcutaneous glucose		
差	<u>US6251260</u>	2001-06-26	Heller; Adam	TheraSense, Inc.	Potentiometric sensors determination		
B	<u>US6175752</u>	2001-01-16	Say; James	Therasense, Inc.	Analyte monitoring dev methods of use		
A	<u>US6162611</u>	2000-12-19	Heller; Adam	E. Heller & Company	Subcutaneous glucose		
B	<u>US6143164</u>	2000-11-07	Heller; Adam	E. Heller & Company	Small volume in vitro a sensor		
A	<u>US6120676</u>	2000-09-19	Heller; Adam	Therasense, Inc.	Method of using a sma vitro analyte sensor		
A	<u>US6103033</u>	2000-08-15	Say; James	TheraSense, Inc.	Process for producing electrochemical bioser		
				Roche	1		

À	US5997817	1999-12-07	Crismore; William F.	Diagnostics Corporation	Electrochemical bioser strip
沙	USRE36268	1999-08-17	Szuminsky; Neil J.	Boehringer Mannheim Corporation	Method and apparatus amperometric diagnost
	US5508171	1996-04-16	Walling; P. Douglas	Boehringer Mannheim Corporation	Assay method with enz electrode system
B	<u>US5288636</u>	1994-02-22	Pollmann; Klaus H.	Boehringer Mannheim Corporation	Enzyme electrode syst

DERABS C88-188581 DERC88-188581



Poviered by V_{ℓ}







minate this for the Galle

© 1997-2004 Thomson

Research Subscriptions | Privacy Policy | Terms & Conditions | Site Map | Contact Us | F

THIS PAGE BLANK (USPTO)